



はなのき

神坂小学校だより No.11 2023.1.24



半歩先の目標

校長 高橋 浩之

新年あけましておめでとうございます。旧年中は保護者並びに地域の皆様方のご支援、ご協力をいただき感謝申し上げます。

コロナ対応は継続していますが、子供達の挨拶の声はとても明るく、気持ちのよい新年のスタートが切れています。冬休み明けの学級活動では、冬休みに目標にしたお手伝いを続けたことや、運動や学習で粘り強く取り組んだことを発表できました。また、今年の抱負を語る子供達の瞳は本当に輝いていました。今の学年で、各々がやり抜くことをはっきりさせ、精一杯取り組むことでその力が基盤となり、来年度も頑張れるのだと思います。



新しい年を迎え、新たな気持ちで挑戦していこうと決意する子供達の話聞き、私は、箱根駅伝で活躍される原監督の言葉を思い出しました。

「伸びる選手と伸びない選手の違いは『目標設定』にある」

陸上部には、優秀な選手がどんどん入部されるそうです。その中で伸びる人は「半歩先の目標を設定している人」だそうです。違う表現で、妄想をもたない人とも言われています。妄想を抱いている人は、よく思われたい（他人の評価を気にする）、早く成功したい（時間軸を短く設定している）という特徴があり、人と比べたり、評価を気にしたりし、視点は“人”となるそうです。

半歩先の目標は、今の自分の実力を把握していないと設定できない目標で、伸びる人は、自分を知りそれをクリアするために半歩先に目標を設定して、それをクリアすることだけに集中し、日々トレーニングしているということです。これを繰り返すことで、大きな記録となると考えてみえます。その上で、一番大切なのが規則正しい生活にあるそうです。これは、半歩先の目標をクリアし続けるために必要な要素であり、習慣であるべきと話されていました。

これはスポーツ界だけでなく、学校生活を送る私たちにも当てはまる場所があるように思います。大きな夢を抱くことはとても大切です。だからこそ、その夢を叶えるためにsmall stepでの歩みは必要と考えられます。

そこで、子供達には、次のことを意識して過ごしていけるよう話しました。

◆続けるためには粘り強さや根気が必要で、辛いことや苦しいことがあっても、最後まであきらめないことが大切であること。

◆挑戦には勇気が必要で、恐れずに一歩踏み出すことが大切であること。

学校では、まず状況を把握し、よりよくなるための取組を計画し行います。そして振り返りをします。今回も新年のスタートを切るにあたり、まずは今の自分をじっくりと見つめて、「根気」「勇気」をもって一つ一つ確実に目標を達成していくことで、大きな夢に近づいていけるように支援していきます。

学校の教育活動に、多くの保護者、地域の方にお世話になりました。

挨拶運動、読み聞かせ、環境整備など、保護者の皆様にはたくさんの活動にご協力をいただきました。また、地域の皆様にも、野菜や米作り、ホタル飼育、そして見守り活動など本当にありがとうございました。本来なら感謝の会を催すところですが、コロナ禍の状態や教育活動の時間数増加のため、その会が設けられなくなりました。紙面にてお礼申し上げます。